

【生団連通信 Vol.20】

新型コロナウイルス抗体検査に関する情報を共有いたします

生団連事務局の塚原です。

本日は、新型コロナウイルス抗体検査に関する情報を皆様に共有いたします。

生団連は、4月17日、提言「適切な『抗体検査』実施体制の早期整備を」をまとめ、「医療崩壊の阻止」と「経済・社会活動の維持」の両立を図るべく、抗体検査に関する諸課題をクリアした上で、適切な実施体制を早期整備するよう政府へ要望しました。

米欧では、抗体検査の導入が始まっています。各メディアにて報道されていますので、情報を整理しました。

新型コロナウイルス抗体検査に関する情報の共有

生団連は、4月17日、「適切な『抗体検査』実施体制の早期整備を」という提言をまとめ、「医療崩壊の阻止」と「経済・社会活動の維持」の両立を図るべく、「抗体検査」に関する諸課題をクリアした上で、適切な実施体制を早期整備するよう政府へ要望しました。

米欧では、抗体検査の導入が始まっています。各メディアにて報道されていますので、情報を整理しました。引き続き生団連は情報を収集・共有しながら、政官へ向けての発信を進めてまいります。

1. 各国の抗体検査結果から

<公表感染者数の十から数十倍の感染者数がある可能性も>

国・地域	公表感染者数	抗体検査が示す感染者数
米国	約 87 万人	—
ニューヨーク州	約 25 万人	約 10 倍
カリフォルニア州	約 1 万 6000 人	28~55 倍
同州サンタクララ郡	約 1000 人	50~85 倍
オランダ	約 4 万人	約 15 倍
イタリア	約 19 万人	約 30 倍

(注) 各報道等より

例えば、ニューヨーク州では、無作為抽出した 3000 人を対象とした調査で、**13.9%**が抗体保有者だったと発表されました。州人口をもとに推計すると約 270 万人が抗体保有者の可能性があります。これは公表されている感染者数(約 25 万人)の 10 倍強になります。

## 2. 各国の抗体検査の実施状況および計画

現段階では、多くの人々が免疫を獲得して流行が収束に向かう集団免疫(全体の6~7割が抗体保有の状態)には遠いですが、経済活動再開の科学的根拠としての抗体検査活用が期待され、各国でその動きが広がっています。

日本では、大規模な抗体検査実施方針は未策定ですが、日本赤十字社が厚労省の依頼を受け、献血者の血液を利用した抗体検査の性能評価を開始しました。

### <各国の抗体検査の実施状況および計画>

国	内容
ドイツ	5月から全国150地点で1万5000人に大規模検査へ
オランダ	4月から血液ドナー約6000人分を毎週検査
イタリア	北西部ロンバルディア州では1日2万件の抗体検査を23日から実施
スペイン	大規模検査の方針を表明。過去3週間に無作為に選ばれた6万人の血液を利用
米国	ニューヨーク州で20日から1日2000件の検査開始
中国	武漢市で14日から1万1000人規模の抗体検査を開始。今後北京や上海でも
フィンランド	4月以降、首都圏で検査開始、今後全国へ拡大。4月末に最初の結果判明
日本	<b>東京と東北で各500人分検査。5月1日ごろ結果公表</b>

(注) 各報道等より

## 3. 世界保健機関(WHO)見解

WHOは、「パンデミックの現時点では、抗体媒介性免疫の効果について十分な証拠が得られていない。そのため、英国などで検討されている『免疫パスポート』や『リスクゼロ証明書』などの正確性は保証できない」「新型コロナウイルス感染症から回復して血液内に抗体を獲得しても、その人がもう二度と感染しないという証拠はない」などとして、現段階では抗体検査に頼った行動制限の緩和や解除に否定的な見方を示しています。

## 4. 適切な抗体検査体制の早期整備を ~生団連の見解

WHOの指摘のとおり、抗体検査の精度や信頼性の問題は十分にクリアされていません。抗体検査に頼った性急な行動制限の緩和や解除は、感染の再拡大につながる危険性があります。

しかし、欧米各国が検討を開始しているように、**抗体検査は、行動制限の緩和や段階的にでも経済活動を再開するための根拠データを獲得する上で不可欠なものです。**また、行政は、国民や地域住民の安心感や納得感の醸成のために、**こうしたデータを基に時間軸を含めた活動正常化のガイドラインを明示していく必要があると考えます。**

わが国においても、感染拡大を防ぎながらの経済活動の正常化に向け、

- ①抗体検査の性能評価の積み重ね (e.g.日本赤十字社の取り組み)
- ②世界各国の事例検証や情報の収集・連携の強化
- ③抗体検査の試験的導入による地域ごとおよび時系列でのデータ蓄積
- ④医療従事者の負担増を回避しながら、一部PCR検査との併用拡大

などにより、**抗体検査の精度と信頼性を高め、適切な抗体検査体制を早期に整備することが望まれます。**